

第10回 阿蘇大橋地区復旧技術検討会

<議 事 要 旨>

令和2年8月6日

- 阿蘇大橋地区の斜面崩壊部及び国道57号現道部の対策工に関して、令和2年7月末までの安全確認期間中における観測の結果、目立った変位・変状はなく、また不安定化の兆候も認められず、対策工法の妥当性及び効果が確認できたため、斜面崩壊部は工事の完成とし、国道57号現道部を含め管理段階へ移行する。
- 対策工事の効果は確認できたものの、熊本地震による大規模斜面崩壊の被災規模を鑑み、引き続き、阿蘇大橋地区の斜面崩壊部及び国道57号現道部については各維持管理の運用に基づき、適切に監視・点検を実施していく。